

みなさんは“モノ自慢”をしたくなかったことはありませんか？

廃道探索にあると便利なアイテム、  
人柱になる覚悟で購入した商品（やその顛末）、  
マジ地雷を踏んで玉砕した経験……。  
そんなモノ遍歴<sup>ひれき</sup>を披瀝して、  
同じものを買ってみようと考えている人の  
参考にしてもらおうという企画です。

ですが今回は nagajis のチョイスなので  
誰の参考にもならない可能性大です

# 物欲之碑

## 第六基



TNF Yuji's pants (改)

by njis

2002年に自転車旅をした時、ノースフェイスの“Yuji's pants”というズボンを履いていた。フリークライマー・平山ユージが監修したというボルダリング用の七分丈のズボンである。

自転車で探索に出かけることの多い私は、自転車を漕ぐのに邪魔にならず、かつ廃道を歩いたり藪を漕いだりするのにも向くようなズボンを探していた。こういう用途には昔からニッカボッカが相応しいということになっているのだけれども（往年のサイクリストはみなニッカボッカを愛用していた）、今どき入手するのは難しいし、しかも存外に高い代物であったりする。作業ズボンを素材にしてニッカボッカ風のを拵え、履いていたこともあったけれども、綿製は大量の汗をかいた時に悲惨なことになる。ベルトを必要とする分、荷物も少し増えてしまう。膝の曲げ伸ばしを阻害せず、汗をかいてもべとつかず、かつ軽いズボン……。そんな都合がいいものがあるものか、とは思ったけれども、諦めずに探し続けた末、ボルダリング用のこのズボンに行き着いたのだった。

確か2001年頃に購入したと思う。厚手の生地で擦過に強く、バックル式のナイロンベルトは調節・着脱が楽だった。裾にはドロコードが入っていてキュッと締められるのも良かった。ロングソックスを履けば冬場の探索にも使えたし、暑ければ普通の靴下+腿までまくりあげてという使い方もできた。何より化繊であることがメリットだった。どんなに汗をかいたとしても、腿にはりついて膝の曲げ伸ばしを邪魔したりすることがなかったのだ。

自分の望む性能を十二分に備えていて、たいそう気に入っていた。2002年の旅もこのズボンのおかげで全うできたと思っている。帰宅後ももちろん使い続け、探索はもちろん、寝巻き・部屋着がわりにも履いていた気がする。それでも綻びひとつできなかったのはさすがノースフェイスだと思った（当時はまだ機能が売りのブランドだったのだ）。

そんなこんなで数年間、同じズボンを履き続けていたのだが、ある日を境に行方不明になってしまい、それっきりになってしまった。コインランドリーで洗濯した時に忘れてきてしまったものらしい。新たに買い直そうにも既に廃盤になって久しく、かわりに綿系素材の七分丈 Yuji's pants だけになっていた。綿のゴワゴワしたやつなら自作のニッカボッカもどきで間に合っていた。

あって当たり前のものが無くなった時、無性に恋しく、懐かしくなってしまうのは誰しもだろうと思う。登山用品店にひょっこり売れ残ったりしていないか、他のメーカーで代替になるようなものはないか、とずいぶん探し回った記憶がある。それでも同じものや代替になるものには巡り合えなかった。それどころか、どんなデザインだったか、どんな生地だったかも思い出せなくなっていることに気づいて愕然とした。厚いナイロン繊維の生地で、確かな厚みがあり、なおかつしなやかで……とは思うものの、その感触の記憶が正しいのか自信がなくなったりもした。普通の山用ズボンでさえも、同じ感触のものに出会わなかったからだ。



当時履いていた Yuji's pants がどんなものだったか思い出そうとして、撮り溜めた写真フォルダを漁ったりした。が、こんな写真しか出て来なかった。2002年の長旅の時、[土仏峠](#) という廃峠を歩いた直後、足についていた青虫を見つけ、何気なく撮ってみたものである。ステッチが腿の真上にきているが、普通はこんな縫製をしない。青虫を写すために裾だけねじったのだと思う。



あるいは……こんな写真しか。滋賀県滋賀県東近江市の **茨川** という廃村から、**茶屋川** を遡上し、**白瀬峠** を越えようとした時の写真。履いているのが Yuji's pants なのだけれど……こんなんでもわかるわけがねえよな。

(ちなみにこの時は **三筋の滝** を越えたところで道がわからなくなり断念した。後日三重側から越え直している)



あるいはあるいは……こんな写真しか。栃木県日光市の [山王林道治山碑](#) に登る馬鹿の写真。

こんな写真ばかり掲げると、何だか自己愛の人のように思われるかも知れないが、この長旅で撮った自撮り写真はこの2枚だけ、かつそこにしか Yuji's pants が写っていなかったのだから仕方ない。

そんな Yuji's pants に、今年の春、再会することができたのである。

しばらくぶりにこのズボンのことを思い出し、何気なく [メルカリ](#) で検索してみたところ、すでに sold out になってはいたけれども、化繊モデルの Yuji's pants が出品されていた。廃盤になってもう 20 年近く経っている代物だというのに。メルカリおそろべし、おそろべしメルカリ。

検索条件を保存して再度の出品を待った。綿系繊維の Yuji's pants は結構な頻度で出品され、どんどん売れていったのだが、化繊モデルはなかなか現れず、出ても自分が購入した翌年に出たモデルだったりして——丈が七分丈でなくなり、裾が鳶ズボンのように膨らんだもの。こんなの履いて藪を歩いたら引っかけまくって話にならん、と思った記憶が鮮やかに蘇った。綿系繊維のモデルになったのはその後だ——やきもきしながら待った。

そうして約 1 ヶ月後。ついにそれが出品された。速攻で購入したのは言うまでもない。確か 4000 えん位だった気がするが、全然安いお買い物で、むしろ今までの思いの丈が貨幣価値に換算されるとたったそれっぽっちなのかと思ひ憮然とした。まことに勝手なものである。



これが、その Yuji's pants。確かにこんな生地で、この丈で、ベルトのバックルを外す時の感覚や腰回りがゆるみ気味なことまで記憶の通りで（一回り大きなサイズを履いていたのだ。これもそう）、懐かしさのあまり涙が出そうになった。けれども……記憶とこのズボンとが微妙にマッチしないところもあった。どうもこれ、自分が履いていたものの一つ前の世代の Yuji's pants らしい。



例えば、裾にドロコードが入っていなかった。つんつるてん(?)の裾である。なので、自分でコードを入れた。ハトメも自前。裾のこの部分が元からループに縫われていたお陰でそれほど苦労はしなかった。

元々コード無しのを無理やりコードにしたせいか、自分の履いていたモデルの記憶ほどスムーズには締められないのだが、それはまあ、仕方ない。諦めよう。



膝より下が二重構造になっているのも違う気がする。この pants は腿から膝、裾に至るインナー部があり、その上にもう一枚の生地（ロゴ刺繍がある布地）が覆っている。記憶の pants は一枚生地で、膝周りのゆったりめの縫製＋ドロークコードで膝のアソビを確保していた気がする。これはこれで、藪漕ぎで一番ぶつける腿と膝を保護してくれるわけだから、かえってありがたい。



履いてみたところ。うん、特に何も伝わらない写真である。ちなみにこの写真は江野坂にゆく前日に泊まった宿で撮った。自分の部屋はこんなにきれいではない。二重構造のお陰で膝より下がスムーズに動き、加えてドロコードでさらに余裕ができて、何とも心地いい。倒木跨ぎのように腿を高く上げる運動をしても全然違和感がない。履いているだけで嬉しくなり、どこまでも歩いていける気になる。

そういうわけで、約 20 年ぶりに納得のいくズボンを履いて探索している。心なしか昔の運動能力が戻ったような気がするのもうれしい。実際にはそんなことあるわけがないのだけれど。

しかし……。このズボンを履いて探索するようになってから、ここ数年収まっていた蕁麻疹が再発してしまった。自分が初めて蕁麻疹を発症し悶え苦しんだのも 2002 年の長旅の最中だった。まるでこのズボンが蕁麻疹まで呼び戻したかのようだ。（前掲足写真はそうなる前の足なので、それを羨ましく見ている私である）

自分の蕁麻疹は自律神経の不調からくるものと聞かされている。歩きやすいことに心を奪われて、急にしんどい運動をしたせいで調子が狂ったのだろう。それと、前掲写真を撮った翌日、マダニに咬まれまくったのも良くなかったと思う。孵化したばかりのマダニの巣に突っ込んでいたことに気づかず、そのまま半日を過ごして、痒いと思った時には両のふくらはぎがえらいことになっていた。正確な数はわからないが合わせて 50 個所くらい咬まれていたのではないか。一週間近くその咬み跡をボリボリ搔いていた気がする。

その翌週には蒸し暑い雨のなか一日中アスファルト道を歩く探索をした。右足が正しく踏めないほど疲労して数日歩行困難になった。その頃から蕁麻疹がどっと出始めたと思う。そんなに虐めてどうするんだと思わないでもないが……。この pants を履くとどこかへ出かけたくなくなってしまふのだから、仕方ない。〈了〉

